

# 角田市農業機械銀行 第32回通常総会・視察研修会開催される!!



角田市農業機械銀行（井上和男理事長）では、八月八〜九日、茨城県のつくば市において、先進技術の視察研修会を兼ねた第三十二回の通常総会を開催しました。

当日は、会員二十六名が参加。先進技術の研修会は、土地利用型農業における作業効率の向上とコスト低減を図るべく、既に実用化もされているロングマット水耕苗による田植え技術や汎用型不耕起播種機による大豆の不耕起播種技術等について、独立行政法人 農業・生物系特定産業技術研究機構 中央農業総合研究センターにおいて、研究経緯や実績、設備や機械、作業の流れを見学しました。

特にロングマット水耕苗による田植え技術は、現田植え作業の中で一番の重労働である育苗箱処理に焦点をあてたもので、既に技術が確立、一部地域では導入・活用がなされており、新3K（軽くて、きれいで、快適）と言われているとのことでした。育苗ベンチ等、初期経費や種子消毒の対応、田植えの精度（欠株）等検討も必要かと思いますが、全体的に導入後はかなりの作業の合理化が期待されるものでした。一連の育苗箱処理が不要となり、田植え作業で一番大変で不可欠であった育苗を扱うことから解放されるものでした。

研修後は、宿泊先のホテルへ移動し、総会が開催され、事業報告と収支決算報告、平成十八年度事業計画（案）及び収支予算（案）について審議され、原案どおり承認されました。

# 角田市アグリパソコン研究会通常総会も開催!!



角田市アグリパソコン研究会（面川義明会長）では、八月二十五日、仙南みらい工房ビッセン（セミナールーム）及び仙南シンケンファクトリーにて、平成十八年度通常総会が開催されました。

総会の議長には藤尾の佐藤良一さんを選出し、平成十七年度の事業報告と収支決算報告、平成十八年度事業計画（案）及び収支予算（案）について審議され、原案どおり承認されました。

特に今年度は、eタックス（電子申告）が全国的に大きな流れになっていくことから、アグリパソコン研究会でも積極的に取り組み、一人でも二人でもトライしていくことが確認されました。

当日は、大河原税務署から鈴木署長と高橋調査官にも出席していただき、鈴木署長より、eタックスの概要とは是非取り組んで欲しい旨の話がありました。

